

2022年度 日本工学院専門学校											
C G 映像科											
デッサン 3											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	藤原 隆洋			実務経験	有	職種	美術家				
担当教員紹介											
立体造形アーティストとして国内外で創作活動・作品発表・メディア掲載多数。デッサンに限らず発想法、彫刻など、創作と応用について指導をする。											
授業概要											
この科目を受講する学生は、1 年次で学んだデッサンの基礎力をさらに深く学び、養うことを目的とする。デッサンを通じて、対象物（モチーフ）の情報をより多く・正確に収集する力、つまりクリエイターとしての「観る力」の向上を目指す。デッサンにより得た知識や技術を工夫・活用することで、表現の幅は広がり、より質の高いCG制作へと繋がる。ただし、デッサンの基礎力を身につけるには、地道な制作の繰り返しと積み重ねによって得られるものであり、そのことを理解し、認識することが重要となる。											
到達目標											
デッサンにおける構図・構成を理解し、形態やパースを正確に捉え、明暗の階調、質感を表現し、積極的に制作できる。制作の繰り返しにより、各自の問題点を認識し、正しい方向へ修正し、就職活動に通用する成果物（作品）を完成させる。											
授業方法											
この授業は、基本的に鉛筆を中心とした画材を使用し、用紙に描画する実習形式で行う。課題では、静物や人体をモチーフに、観察力、描写力を養う。基本的な形態・構図・明暗・質感・空間の意味を認識し、描写の密度・完成度を上げることを習得する。											
成績評価方法											
課題作品 80％ 作品の完成度、目標到達度等により評価 平常点 20％ 積極的な授業参加度、授業態度により評価											
履修上の注意											
この授業では学生の受講姿勢と制作態度を重視する。授業中の私的なスマートフォン（タブレット、PC、ゲーム機も含む）使用に厳しく対応する。理由のない遅刻、欠席は認めない。出席率75%(留学生は80%)以下は不合格とする。学生の進具合によって本シラバスの進行内容を変更する場合があります。											
教科書教材											
資料はその都度表示、または配布する。											
回数	授業計画										
第1回	描写道具についての確認：描写用具についての知識を深め、さまざまな使い方と表現を習得する										
第2回	基本形態の復習1：形態を正しく捉えるとともに形態感を強める表現ができる										
第3回	基本形態の復習2：形態を正しく捉えるとともに形態感を強める表現ができる										
第4回	基本形態の応用1：形の狂いを自ら修正できる										
第5回	基本形態の応用2：光・影を意識し、立体感を強める										

2022年度 日本工学院専門学校	
CG映像科	
デッサン3	
第6回	基本形態の応用3：質感表現にこだわり、完成度を上げる
第7回	自然物：モチーフの構造・質感を観察できる
第8回	工業製品1：形態を正しく捉えることができる・質感の違いを意識できる
第9回	工業製品2：質感を描写表現できる
第10回	人体1：人体構造を正しく理解する
第11回	人体2：プロポーションを正確にとり、正しい構図を得ることができる
第12回	人体3：明暗の階調の調整ができる
第13回	風景1：正しくトレースできる
第14回	風景2：正しく明暗を捉えることができる
第15回	風景3：細部まで描写に拘ることができる